

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCB_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	鳥取看護大学	階数	地上5F
建設地	鳥取県倉吉市福庭854	構造	S造
用途地域	都市計画区域内(区域区分非設定)	平均居住人員	380 人
気候区分	地域区分V	年間使用時間	3,600 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2014年4月2日
敷地面積	63,442 m ²	作成者	田中 一義
建築面積	1,479 m ²	確認日	2014年4月3日
延床面積	6,246 m ²	確認者	南 章彦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 74%
 ③上記+②以外の 74%
 ④上記+ 74%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
 Q1 室内環境: 3
 Q3 室外環境(敷地内): 2
 LR1 エネルギー: 1
 LR2 資源・マテリアル: 2
 LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.6

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	気候、風土に配慮した施設づくり・安心、安全、効率の良い施設づくりに配慮した。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F☆☆☆☆、低VOC材料を使用し、化学汚染物質発生に配慮した。	建築物移動等円滑化基準を満たし、バリアフリー計画に配慮した。	講義室へのエアコン室外機の騒音を抑えるため、非居室側のバルコニーに配置した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
CO ₂ 直接発生させず、空気を汚さない安心でクリーン機器を採用した。	極力エコマーク商品を採用した。	進入路・場内スペース等を確保し、敷地周囲の交通に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される